

サービス産業動向調査利用研究会（第3回）議事概要

- 1 日 時 平成21年2月24日（火）14:00～16:00
- 2 場 所 総務省第2庁舎6階特別会議室
- 3 出席者 委 員：吉澤座長、西郷委員、大森委員、二上委員（内閣府）、肥後委員（日本銀行）、小出委員（統計センター）、土井委員（統計センター）
事務局：小暮統計調査部長、羽淵調査企画課調査官、岩佐経済統計課長
- 4 議 題
 - (1) 未回収結果の補定方法について
 - (2) 指数の作成方法について
 - (3) その他
- 5 議事概要（主な意見等）
 - (1) 未回収結果の補定方法について
 - ・ 2か月目以降について、未回答が複数月続いた場合、順次前月から補定を行っていくのはとてもよい考えである。
 - ・ 評価式については、補定値と実測値の比の対数を取る方法もあるが、今回の評価式と同じような結果になると考えられる。
 - ・ この評価式では、補定値と実測値の比を個別に取って評価しているが、それぞれから全体推計を行った上で評価する方法もある。
 - ・ 季節変動を考慮するためには、5年程度はデータの蓄積が必要だが、2年程度蓄積した段階で、前年同期比を用いた補定方法を検討するとよい。
 - (2) 指数の作成方法について
 - ・ 今回、検証のためにパーシェ型及びフィッシャー型も算出しているが、指数を公表するのであれば、そのときも同様の検証を行うとよい。
 - ・ ラスパイレス型とパーシェ型では、一般的にラスパイレス型の数値が高めに出る傾向があるが、今回の試算では、必ずしもそのようになっていないことから、その要因を分析してみるとよい。
 - ・ 経済センサスの結果が出れば、売上高の配分率について、経済センサスの結果から検証するとよい。
- 6 次回の予定 平成21年4月